

あいのかぜ

VOL. 13

2002・春号



特集 **応援者を見つけよう!**
～ 社会で支える育児～

"あいのかぜ"は、男女共同参画社会の実現に向けて、市民一人ひとりが男女共同参画に関する正しい理解と認識を深めることを目的に、公募市民3人からなる編集委員によって企画・編集された情報交流誌です。

応援者を見つけよう!



～ 社会で支える育児 ～

男女共同参画社会の実現を目指すなかで、ネックとなっているもののひとつが「育児」ではないでしょうか。以前と比べると、育児への男性の参画が進んだとは言えるものの、その責任の多くは、まだまだ女性の肩にかかっているのが現状です。

そのため、仕事を持つ女性は「子どもか、仕事か」と悩むことも多く、もしどちらかをあきらめなければならないとしたら、本人にとっては不幸なことであり、企業や社会にとっては損失だと思います。また、子育てに専念する女性にしても「いずれは社会復帰したい」「自分の時間がほしい」と思っている人も多いのではないのでしょうか。

子育てを支援する制度を積極的に利用することによって、抱えている問題を解決できることもあります。今回、「あいのかぜ」では、家族だけでなく社会の中からも積極的に自分の応援者を見つけて、育児に仕事に頑張っている方々取材しました。

ファミリー・サポート・センターを利用して...

富山市ファミリー・サポート・センター（以下「センター」）は、育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人からなる会員組織です。会員数は600人を超え、活動件数は1,829件（H12年度）、内容も多岐に渡っています。

しかし、「子どもを他人に預けるのは不安」「周囲の音が気になる」「（お金が）いくらかかるのかわからない」などの理由で、センターの利用をためらう方もいるかもしれません。

今回は、会員同士が良い信頼関係を築いている、Kさん、Iさん、山原さんにお話を伺いました。

富山市ファミリー・サポート・センターの仕組み

- * 依頼会員は、子どもを預けたいときに、センターに電話で連絡します。
- * センターは、依頼会員の最寄りの地区にいる協力会員に連絡を取ります。

利用料金	
基本時間 (平日7～19時)	1時間 700円
基本時間外 (土・日・祝日・早朝・夜間)	1時間 900円

サポート申し込み

富山市ファミリー・サポート・センター

サポート依頼

会員登録

依頼会員

協力会員

会員登録

Kさん (35歳)

夫・長男(8歳)・長女(4歳)・次男(1歳)の5人家族
Iさんに紹介されてセンターを利用

Iさん (35歳)

夫・長男(7歳)・長女(2歳)・次男(1歳)・Iさんの両親の7人家族
3人目の出産を機にセンターを利用
Kさんとは友人
(お二人は、本人の希望でイニシャルになっています)

山原多美子さん (42歳)

H11年に協力会員としてセンターに登録
自身も9歳・5歳の子どもを持つ

事前打ち合せ、
活動終了後、報酬の受け渡し

登録条件、利用料金など、詳細は富山市ファミリー・サポート・センター
にお問い合わせください。

〒930-0084
富山市大手町6-14 (市民プラザ3階) TEL 493-1315



センターを利用して良かった点は？

Kさん なんといっても精神的にとても心強い。「いざというときは、山原さんに頼める」という安心感があります。最近では、夫も「山原さんをお願いできる？」ということもあるくらいです。

Iさん 育児で悩んだとき、親以外にすぐ話せる人がいるというのは心強いです。ストレスがたまらなくていいですね。「ベビーシッターに預けているの?! いい所の奥様みたいだね」と言われたこともあります。が、「上手に利用して上手に育児している」とか、「生き生きしている」と友人に言われたことも。夫も、両親も、好意的にみてくれています。

山原さん 自分の子どもを他人に預けるって、やはり不安だと思います。一度センターなどで協会会員さんと会ってみて、「この人に預けるのなら大丈夫」と思えたら、30分でも1時間でも構わないから預けてみてはどうでしょう。

「子育ては女性が担うもの」という風潮もあり、女性の負担は大きいと思います。でも、つらいときあんまり無理して我慢しても、自分のためにも良くないし…。親って子どもに食べさせたり着替えさせたりしつけもあったり、とにかく必死ですね。子どももそういうお母さんと向き合っていると、張り詰めたり、煮詰まったりするときもあるでしょう。そんなとき、ちょっとセンターを利用すれば、ファッと肩の力が抜けるのではないのでしょうか。習い事に行くなり体を休めるなり、少しでも自分の時間を作れば、また元気が出ると思います。

どんな時に、センターを利用していますか？

Iさん 第3子の出産を機会にお願いするようになったのですが、今は、一人ひとりその子のために行動したいので、学校の個別懇談、幼稚園のサークル、赤ちゃん教室のときなどに他の子をみてもらいます。私が突然熱を出して、緊急をお願いしたということもありました。

Kさん 「親子体操教室」に長女と参加するとき、次男を預けたのが最初でした。今は、やはり子どもの行事のときなどに利用することが多いのですが、先日、引越した際は、自宅で子どもをみてもらいました。

どのような形でお子さんを預かるのですか？

山原さん 私の家で預かったり、相手のお宅へ伺ったり...ケースバイケースですね。依頼会員さんの希望によっては、美容院や買い物、病院に同行して、お子さんをみることもあります。お互いに負担がかからないように、一番良い方法を話し合っています。

お子さんの様子はどうですか？

Iさん センター利用歴は1年くらいですが、子どもたちは「山原さん、大好き~」って、いつも言っています。普段は、私の愛情を3人の子どもに3等分するような形になるけれど、山原さんに預けている間、その子は山原さんの愛情すべてを一身に受けている…。他人であっても「自分を可愛がってくれる」というのが子どもにもわかると思います。昔のように、地域の人と一緒に育てるといことがなくなってきたので、子どもにとっても、いいことだと思います。子どもの成長を客観的に見てもらえるので、山原さんに教えてもらって改めて気付かされることもあります。



写真は、依頼会員さんのお宅でお子さんをみている山原さん

お話を伺って、Iさん、Kさんが子育てを楽しんでいらっしゃることが、私たちにも伝わりました。また、お子さんたちが安心して山原さんに接している姿を見て、サポートする側とされる側が良い関係を築いていることも十分わかりました。「そのうち、夫と2人で食事に行ってみたいね」と、3人は声を揃えていました。

育児に手助けが欲しいとき、家族や友人に頼ることが多いのではないのでしょうか。中には、1人で悩んでいる方もいるかもしれません。多少の金銭を介しても、信頼できる人がいて何かのときに頼れるということは、子どもを育てていくうえで大変心強いものだと感じさせられました。



育児と仕事の両立に理解のある企業を訪問し、出産後も働き続けている社員と、社長のお話を伺いました。

プロフィール

増川 ^{たくみ} 智さん(47歳)

県内でカー用品店等を経営

高橋 優子さん(34歳)

増川社長が経営する会社で働く、勤続10年の社員
5歳と3歳のお子さんを持つ

高橋さんは管理部総務主任として、社員の給与関係の事務や、社内報の発行を一手に担っています。一方、家庭では2児の母でもあります。同社では、女性社員は出産後、退職するかあるいはパートとなるケースが多かったのですが、高橋さんは「**出産後も仕事を辞めるという考えは全くなかった**」ということです。仕事にやりがいを見つけており、会社側も貴重な戦力として認めていました。

増川社長は「**仕事の責任を果たすのであれば、男女の差別はしない。勤務体系などは個人の希望にできる限り沿うようにしたい。ただ休みをとることで、周りのスタッフに迷惑をかけないことが第一の条件**」と言い切ります。会社はとても家庭的な雰囲気です。また、こういった社長の考えがはっきりしているのも、子どもの具合が悪いときや検診などのときも、休みを取りやすいそうです。グループ内のある店長が、子どもの世話をするために早く帰宅することを余儀なくされたときも、社長曰く「**事前に準備さえきちりやっておけば構わない**」ということでした。

高橋さんは「私は母と姑がとても力になってくれて、会社も理解があってすごく恵まれているけれど、周りを見渡したら、やはり延長保育や、病気の子どもを預かってくれるという保育施設、そして学童保育は絶対必要」と言います。増川社長も共働きで、子どもが小さいころは他に預けていたため、状況をよく理解されています。「**制度が整っていれば女性の社会進出は飛躍するでしょう。それで労働力がすごく上がるだろうし、そうなれば自ずと個々の所得も増え、消費も一緒に拡大されていくことになると思う。女性が働くことによる経済効果は十分にあっていいでしょう。これらがうまく機能すれば、すべてが循環すると思うけど、今はどちらかという循環していませんよね。**」と語ります。



「(両立に) どうやって応援者を増やすか、環境を整えるかが大事ですね。両立にはリスクや犠牲が伴うから、それを最小限に抑えるよう、女性自身も知恵をつけること、考えることが必要だと思う。」
増川社長

「両立を1人で頑張ってしまうと、周囲を責める気持ちが生まれてしまいます。だから力を入れすぎないこと。仕事を続けたいという気持ちを周囲に押し付けず、また子どものために我慢していると考えないように、やりたいことは自然にやるのが一番だと思います。私も仕事を続けさせてもらっているので、今度は、周囲に『ありがとうの気持ちを返してあげたい』と思っています。」
高橋さん



子どもを保育園に預けて、育児と仕事を両立させている方にお話を伺いました。

プロフィール

荒木 顕子さん (31歳)

市内在住 会社員

夫・長男(5歳)・長女(1歳9ヶ月)の4人家族



長男を妊娠したときは、ちょうど仕事を面白く感じ始めたころでもあったので、仕事は辞めたくなかったんです。今、子どもは2人とも会社近くの保育園に預けています。午後6時までがお迎えの時間なのですが、7時までの延長もありますし、朝も7時ごろから預かってくれるところです。保育園の雰囲気もいいし、施設も充実していて満足しています。

平日に行事があるときは、会社を休むこともあります。ただ子どもが病気のとくに頼るところがないのが悩みですね。現在は、夫と交代で休むなどして何とか対応しています。

夫は両立に理解があり、とても協力的です。役割分担を決めたわけではなく、手の空いている人がやるという風に、臨機応変にやっています。その点、とっても幸せなんじゃないかな。

会社も両立には協力的です。1歳の誕生日前日までの「育児休業制度」はもちろん、1日2回、それぞれ30分の「育児時間」を取得できるという制度もあります。例えば、退社時間を1時間早めるというように利用できるんです。また、残業の軽減など、上司からも気遣ってもらっていると思います。

育児のストレスは、今よりも育児休業中にあったかもしれません。特に長男のときは、慣れない育児と家事に追われて1日が終わる感じでした。ずっと子どもと2人きりなので、世の中から取り残されたような気分になったり、夫が不在のときに限って子どもが発熱したりして、「なんで私ばかり？」と思うこともありました。今はそう思うことはほとんどありません。時間に追われるのは変わりませんけど。

実は、会社に復帰する時点で「仕事を辞めようか」と迷いました。今でも時々「子どもに悪いかな」という思いが込み上げることもあります。でも仕事をしていることで、気持ちが切り替えられて、「荒木顕子」個人があることに満足しています。自分の時間が取れないことは残念だけど、手抜きもしつつ頑張っているつもりです。

今後の大きな問題は、長男が小学生になってからのことです。低学年って学校が早く終わりますよね。仕事が終わるまでの間、学童保育のような制度が利用できなかったらどうしようか、夏休みなどどうしようか、そういうことに不安を感じています。

「仕事と育児を両立させている人、これからどうしようか考えている人、たくさんいると思います。子どもを預けて働くことに、罪悪感を持たなくていいんじゃないかな。子どもと離れることで自分も取り戻せるし、ますます子どもが愛おしく思えるんです。」と笑顔で語ってくれました。



今回の取材で出会った方々は、みんな生き生きと輝いていらっしゃいました。それは、周りに自分の応援者を見つけているからではないでしょうか。

子育て中であっても、自分の時間を持つことは必要なことであり、大切なことです。そして、それを支えるための制度もいろいろあります。悩んだり困ったりすることが出てきたら、一人で抱え込まないで、誰でもよいから頼ってみてはどうでしょうか？周囲を自分の「応援団」にすることで、自分が元気になるし、自分が元気なら子どもも家族も元気になる、そしてそれがまた自分の活力に変わる…。 “元気な自分” をつくって子どもに接していくのも、親の責任ではないでしょうか。さあ、いい仲間に出会って、前を向いて笑いましょう。

パパ・ママセミナー

もうすぐ子どもが生まれるプレパパ・プレママは、育児をどんな風に考えているのでしょうか？
富山市南保健福祉センターで開催されている「パパ・ママセミナー」を訪ね、参加されたご夫婦に簡単なアンケートを行いました。

育児で困ったとき、相談する人や子どもを預けられる人は？

双方の親、友達、同僚など

育児を支援する制度を知っていますか？

ファミリー・サポート・センター(名前だけ)
保健所、保育所

職場復帰するとき、不安なことは？

子どもの預け先
手元を離れている間の子どもの様子
子どもが病気になったとき
帰宅してからの子どもの世話
色々ありすぎる

職場復帰するとき子どもをどこに預けますか？

保育所、親、まだ考えていない



夫は何をしようと考えていますか？

ミルクや沐浴など子どもの世話
茶碗洗いなどの家事
出来ることは何でも

育児について妻は夫に何を望みますか？

沐浴をしてほしい
子どもといる時間を作ってほしい
進んで家事をやってほしい
相談にのってほしい

育児で困ったときに頼る相手として、圧倒的に多かった答えは「双方の親」でした。でも「周りには誰もいない」という方もいました。そこで「育児を支援する制度で知っているのは...？」と尋ねたところ、「保育所」「幼稚園」「保健所」との答え。「ファミリー・サポート・センター」と答える方は少なく、知っているも「名前だけ」とのことでした。職場復帰を考えているプレママに不安な点を尋ねたところ、「預け先」「子どもが病気になったとき」と答える方が多かった中、「心配なことがありすぎて...」という答えがあったのが印象的でした。また、両立には欠かせないパパの協力について、プレパパは「どんなことでも、できる限りの協力をしたい」と、頼もしい答え。全体的な印象としては、まだ出産前ということで、「急に言われても...」という感じでしたが、それでもプレママは漠然とした不安を感じており、精神的な支えを必要としているようです。プレパパは、プレママ以上に「まだよくわからない」ようだけれども、育児に参画する気持ちは大いにあるようです。

豆知識

育児休業制度

労働者が1歳に満たない子を養育するために取得する休業のこと。「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(以下『育児・介護休業法』)に規定。平成13年11月、この法律の改正法が成立。改正ポイントは次のとおり。

事 項	改 正 後	改 正 前	施行期日
育児休業の申出、取得を理由とする不利益な取扱い	解雇、その他不利益な取扱いを禁止	解雇を禁止	H13 .11 .16
育児又は家族介護を行う労働者の時間外労働の制限*	1か月24時間、1年150時間を超える時間外労働を制限	規定なし	H14 .4 .1
勤務時間の短縮等の措置義務の対象となる子の年齢の引上げ	義務..... 3歳未満の子 努力義務... 3歳以上小学校 就学前まで	義務..... 1歳未満の子 努力義務... 1歳以上小学校 就学前まで	
子の看護のための休暇措置	努力義務	規定なし	
育児又は家族介護を行う労働者の配置	転勤に際して育児や介護の状況に配慮すべき義務	規定なし	H13 .11 .16
職業家庭両立推進者	選任について努力義務	規定なし	
仕事と家庭の両立についての意識啓発	国による支援措置	規定なし	

* 今回の改正により新設される時間外労働の制限の規定は、育児・介護を行う一定の女性労働者について、時間外労働の上限を通常の労働者よりも低いものとする(1年150時間等)ことを定めた激変緩和措置(労働基準法第133条)が平成13年度末で終了することを踏まえ、新たに男女共通の育児・介護のための時間外労働の制限の制度を定めるものです。

育児・介護休業法は、全ての制度について、男女労働者が対象となっています

(厚生労働省ホームページより)

男女共同参画とやま市民フェスティバル

男女共同参画社会について考える「男女共同参画とやま市民フェスティバル」が、平成13年11月17日(土)、富山国際会議場大手町フォーラムで開かれ、「男女共同参画宣言都市記念式典」女と男のつどい2001」が行われました。あいにくの雨にもかかわらず、朝早くから多くの方が来場され、会場は終日賑わいを見せました。

男女共同参画宣言都市記念式典

市民代表とともに「富山市男女共同参画都市宣言」を声高らかに読み上げ、市民一体となって男女共同参画の推進に努めることを確認



「男女共同参画社会づくり作文コンクール」で優秀作品に選ばれた中学生5人の表彰



坂東眞理子内閣府男女共同参画局長による「男女共同参画推進本部報告」



東京大学社会科学研究所教授大沢眞理氏による基調講演「わたしたちの手で男女共同参画社会を～到達点と今後の課題～」



専門分野である経済とからめ、男女共同参画について説明

女と男のつどい2001

ワークショップ

「生活防衛・基礎の基礎・生命保険活用法」
「子どもへの暴力防止～今、おとなができることは？」



ランチトーク

昼食を取りながら、「食卓」「家庭」「地域」の3つのテーマで、男女共同参画について話し合う。



講演会「生きやすい生き方」

シャンソン歌手・俳優 美輪明宏さん

最近おかしくなってきた世の中の現象を、音楽や建築・ファッションなどの側面から、独特の毒舌でユーモラスたっぷりに風刺する一方、幸福を呼ぶ素敵な生き方をアドバイス。満席の会場は、終始笑いが絶えず、拍手喝采。



作品展示(交流ギャラリー、ホワイエ)
市内で活動する女性団体等の作品展示や発表。



折り紙の実演コーナーは人があふれるほどの盛況ぶり

男女共同参画社会づくり作文コンクール



今年度からの「富山市男女共同参画プラン」策定を記念して、市内の中学生を対象に、男女共同参画に関する作文を募集しましたところ、数多くの作品が寄せられました。



最優秀賞
優 秀 賞

「協力することの大切さ」
「気づかない男女差別」
「男女平等について」
「自分らしく生きること」
「男女平等について」

堀川中学校 2年 新田 睦
興南中学校 3年 水野 聡子
堀川中学校 3年 霜鳥 友祐
北部中学校 3年 堀井 春花
興南中学校 3年 清水 寛子

(応募総数80点)



男女共同参画宣言都市記念式典において、表彰、発表が行なわれました。

協力することの大切さ

堀川中学校 2年 新田 睦

以前は、男の人は働いて家族を養い、女の人は子育てをし、家事をして家を守っていました。でも私は、「家事は女の仕事だ」というのは、今は古い考えだと思います。女性だってやりたい仕事があるだろうし、家事をすべて女性がするというのはおかしくないでしょうか。男性だって、家のことや子育てを少しずつでもやっていくべきだと思います。

私の両親は、共働きです。父はいつも朝早く家を出て仕事へ行き、夜遅くに帰ってくるけれど、母はだいたい夕方ごろには帰ってきているので、普段の家の仕事は母がやっています。しかし、母はたまに祝日や休みの日にも仕事に行くので、みんなが休みの日には、いつも母がやっているご飯の準備や洗濯、そうじやその他のことを、父を中心にみんなで協力してやっています。私の家では、「家事は女の仕事」ではなく、「家族みんなが協力してする仕事」です。そうすれば、誰か一人の負担にならなくてすむと思います。

私は、あと十年ぐらいしたらどこかで働いていると思います。生きがいを持てる仕事に就いていたいと思います。でも、いずれ結婚、出産、育児となると、仕事と家事、育児の両立ができなかった場合、女である私が仕事を辞めなければならぬこともあるでしょう。「せつかく生きがいのある仕事に就けたのに」という失望感を味わいたくありません。そんな時、家事、育児を女性に押し付けるのではなく、両親のように夫の協力が大変大きな力になると思います。

「男女共同参画社会」という言葉を目にしたことがありますが、今の私には「男女が社会で対等である」というぐらいしかわかりません。まずは、家の中から男女平等で物事を考えて、これからは過ごしていくべきだと思います。

編集後記

今号制作中に子育てがスタートしたばかりの私は、出産の感動などこへやら、まさに今、気力・体力とも一杯一杯です。ですから、子育てをサポートする制度・機関を知って心底ホッとし、何より、取材させて頂いた方々の言葉に本当に励まされました。子どもはいろいろな人の力で大きくなるんですね。

高沢 美和

私自身も子育て真っ最中なので、今回のテーマはとても興味深いものでした。育児にいろいろある「大変なこと」の一つは、子どもと二人で出歩くこと。一杯の荷物と子供を抱えて階段を上り下りしなきゃいけない状況に陥ったときは、本当につらかった。子供がいる、いないに関わらず、困っている人にはとにかく一言声をかけるぞ！と堅く心に誓いました。この気持ち忘れないようにしましょう。

中村 里恵子

小さいお子さんを見ながら、お母さん方のお話を伺っていて、子育てをしていた頃が思い出されました。まとわりつかれ、子どもの体のぬくもりを感じる日々はあっという間に終わります。ゆっくり子育てを...というのは、しかし、過ぎたから言えるのかもかもしれません。自分の時間が持てない「この時期」が永遠に続くかのように思えたときもあったものです。

西谷 明美

タイトルの「あいのかぜ」は、「私(英語でI)の風」、「あいの風(富山弁で北東からの涼しい風)」、「愛の風」を表しています。

Cover「春風(しゅんぷう)」渡辺 司さんの作品
情報交流誌タイトルの「あいのかぜ」を表した和紙画です。「あい(愛)」のやさしさ、柔らかなさを和紙で、「かぜ(風)」を、春風を受けて軽やかに回る民芸品「風車」で表現しました。

編集・発行 富山市役所市民生活部青年女性課
〒930 8510 富山市新桜町7 38 Tel. 076 443 2051
Fax. 076 443 2176

「あいのかぜ」へのご意見・ご感想をお待ちしております。
[宛 先] 〒930 8510 富山市青年女性課(住所記載不要)
[アドレス] seinenjyousei-01@city.toyama.toyama.jp